

第 22 回市立奈良病院運営市民会議議事録

会議の概要は次のとおりでした。

日 時：平成 27 年 5 月 19 日（火）午後 2 時 00 分から午後 4 時 00 分

場 所：市立奈良病院別館 2 階 第 4 会議室

出席者： 10 名

座長 谷掛 駿介 （奈良市医師会会長）
島本 太香子 （奈良大学教養学部教授）
瀬川 雅数 （奈良県病院協会理事）
森村 照私 （監査法人トーマツ奈良事務所長）
渡邊 三平 （市民代表）
中井 弘司 （奈良市社会福祉協議会副会長）
新谷 絹代 （奈良市国民健康保険運営協議会会長）
河瀬 喜代子 （高齢者住宅ベルアンジュ奈良前館長）
白須 洋子 （NPO 法人子どもの人権総合研究所理事長）
栗本 恭子 （ウィメンズ・フューチャー・センター代表）

事務局（庶務） 9 名

外良 市民生活部長
谷奥 市民生活部次長
福井 市民生活部参事
松原 病院管理課長
菅 看護専門学校校長
竹本 看護専門学校事務長
一井 病院管理課課長補佐
清水 病院管理課主任
小山 病院管理課課員

欠席者： 4 名

森本 恵子 （奈良女子大学生生活環境学部教授）
岩井 誠 （奈良県医師会理事）
千葉 喜代子 （市民代表）
高橋 裕子 （市民代表）

○開始

(福井市民生活部参事)

- ・開会宣言
- ・委員の出席状況報告
- ・懇談会としての位置付け等について説明（福井参事）
- ・新たな参加者紹介
- ・事務局紹介（自己紹介）
- ・座長選出

今回の会議から「懇談会」の位置付けとなり、市民会議の座長は市立奈良病院運営市民会議開催要綱の規定により参加者の互選で奈良市医師会会長の谷掛会長を座長に選出。

- ・座長あいさつ
- ・議事公開 傍聴者なし。

案件

- (1) 平成 26 年度事業実績等について
- (2) 平成 27 年度病院事業会計予算について
- (3) 平成 27 年度事業予定等について
- (4) その他

○案件 1 平成 26 年度事業実績等について

(松原課長)

実施済の事業は、次の通り。

- (1) 新病院整備事業
 - ① 駐車場・外構整備のⅢ期工事が竣工し、7月にグランドオープンとなった。
- (2) 診療機能の強化
 - ① 医師、看護師及び医療技術者の増員
 - i) 医師
診療機能を強化するため次の診療科で医師の増員を図った。
循環器内科(3)、神経内科(1)、小児科(2)、脳神経外科(1)、産婦人科(1)、
麻酔科(1)、感染制御内科(1)、緩和ケア（非常勤）(1)
 - ii) 看護師
年度初めに新たに 47 名採用した。
 - iii) 医療技術部職員の増員を図った。
薬剤師(3)、診療放射線技師(2)、臨床検査技師(2)、作業療法士(1)、
言語聴覚士(1)、視能訓練士(1)、臨床工学技士(3)

②4 階西病棟の開棟

看護師の確保に伴い、4月から一般病棟として4階西病棟を開棟した。

③地域医療連携の推進

地域の医療機関（後方病院）とのスムーズな連携体制を強化するため、4月から地域医療連携室に看護師を1名増員した。

④地域がん診療連携拠点病院としての機能強化

「地域がん診療連携拠点病院」として地域のがん医療の向上に貢献していくため、4月から緩和ケア科を院内標榜し、毎週金曜日に緩和ケア外来（非常勤医師）の診療を開始した。また、がん相談支援センター室を5月から設置した。

⑤臨床研修体制の機能強化

臨床研修医の定数増（6→7名）に伴い臨床研修センターの指導体制を強化するとともに、新たに設置されたスキルラボ室を効果的にあらゆる職種の研修の場として、8月から運用を開始した。

○平成26年度市立奈良病院患者数等の報告について

1 入院患者数

26年度 100,086人。25年度 90,774人。年間9,312人の増。

1日平均 26年度 274.2人。25年度 248.7人。1日平均 25.5人の増。

平均在院日数 26年度 10.4日。25年度 10.6日。0.2日の減。

2 外来患者数

26年度 214,630人。25年度 201,439人。年間 13,191人の増。

1日平均 26年度 732.5人。25年度 685.2人。1日平均 47.3人の増。

3 救急患者数

26年度の取扱患者数 7,637人。25年度は6,134人。年間 1,503人増。

その内救急車取扱件数 26年度 4,255件。25年度 3,357件。

4 紹介率

26年度 35.8%。25年度 33.7%。

紹介状持参者 26年度 7,385人。25年度 6,615人。770人の増。

5 手術件数

26年度 4,348件。25年度 3,701件。年間 647件の増。

6 分娩件数

26年度 499件。25年度 529件。30件の減少。

(谷掛座長)

平成26年度事業実績等について、ご質問等ございませんか。

質疑応答

(栗本)

分娩件数が 25 年度に比べて 26 年度は減っているが、何か問題があって減っているということではないのか。

(松原課長)

そういう事ではない。病院にも確認したが、病院が新しくなったので 25 年度は増えたのではないか、24 年度が 439 人だったので、25 年度の増え方が大きかったということも要因ではないかと考えている。

(新谷)

看護師の 47 名の増員は、純粹に増えたのか、それとも退職者の補充か。

(松原課長)

年間の退職者数は 35 名で、これに対する増員である。

(新谷)

47 名がすべて増員ということではない。一般的に看護師という職業はきつい仕事といわれているが、退職者は多いのか。他の病院と比べてどうか。

(松原課長)

本日は資料を持ち合わせてないので、次回にお答えする。

○案件 2 平成 27 年度病院事業会計予算について

(松原課長)

平成 27 年度奈良市病院事業会計予算については、3 月議会において議決いただいている。この会議では、収支内容について報告する。

「平成 27 年度奈良市病院事業会計予算書」から説明。

1. 第 2 条 業務の予定量

病床数 350 床

入院患者数 年間 108,876 人 1 日平均 298 人

外来患者数 年間 229,960 人 1 日平均 782 人

2. 第 3 条 収益的収入及び支出

①病院事業収益

医業収益 41,103 千円

医業外収益 537,677 千円

看護師養成事業収益 101,800 千円

収入合計 680,580 千円

詳細は、P4、P20～P22 に記載。

②病院事業費用

医業費用 725,401 千円

医業外費用 14,999 千円
看護師養成事業費用 101,800 千円
予備費 1,500 千円
支出合計 843,700 千円
詳細は、P6、P23～P26 に記載。

3. 第 4 条 資本的収入及び支出

資本的収入 46,300 千円
資本的支出 46,300 千円

企業債償還金については、企業債の元金償還金で市負担分 25,761 千円と協会負担分 18,806 千円の合計 44,567 千円

4. 第 5 条 一時借入金の限度額 10 億円

5. 第 8 条 一般会計からの補助金

医業外収益の他会計補助金 33,912 千円
看護師養成事業収益の他会計補助金 16,076 千円
資本的収入の他会計補助金 1,733 千円
合計 51,721 千円

その他、P7 に予定キャッシュ・フロー計算書、P8～P13 に給与費明細書、P15～P19 は予定貸借対照表及び予定損益計算書。

(谷掛座長)

平成 27 年度病院事業会計予算について、ご質問はありませんか。

(質疑応答)

(渡邊)

16 ページのその他未処分利益剰余金の変動額とはどういうものをいうのか。

(小山係員)

その他未処分利益剰余金は、平成 26 年度に公営企業会計の制度が変わりまして、これまで資本剰余金としてきた減価償却資産の財源となった補助金等について長期前受金に計上することになった。この制度改正に伴う移行処理の中で生じたものである。

(渡邊)

毎年同じ額を剰余額として振り替えるのか。

(森村)

公営企業会計が、平成 26 年度から新公営企業会計となり、前期の予定貸借対照表の変動額も 26 年度から 1 億 3000 万円となっている。今後、毎年このように新制度の改正による支払い剰余金となる。

○案件 3、平成 27 年度事業予定等

(松原課長)

(1) 診療機能の強化

①医師、看護師及び医療技術者の増員

i) 医師

診療機能を強化するため次の診療科で医師の増員を図る。

呼吸器内科、消化器内科、血液内科、心療内科、麻酔科

ii) 看護師

年度初めに新たに 34 名採用した。

iii) 医療技術者の増員数

診療放射線技師 1 名、理学療法士 2 名、作業療法士 1 名、臨床工学技士 1 名

②人工関節センターの設置

市立奈良病院の専門機能を高めるとともに、奈良市内の医療水準の向上に寄与するため、既存の消化器肝臓病センター、乳腺センター、四肢外傷センター、脳・神経センター、網膜硝子体センター、甲状腺外科センターに加え、人工関節センターを設置する。

③臨床研修センターの機能強化

臨床研修医の定数増(7→9名)に伴い指導体制を強化するとともに、スキルラボ室の効果的な運営を行う。

(2) 病院機能評価の受審

当院の「質の向上」維持を目的に、日本医療機能評価機構による病院機能評価(第三者評価)を受審する。

(3) 看護専門学校の運営

初めての卒業生の輩出年度となる、奈良市立看護専門学校の学生教育にかかる部門運営を行う。

(4) 診療所の診療支援

奈良市立柳生診療所、奈良市立田原診療所、奈良市立月ヶ瀬診療所及び奈良市立都祁診療所の診療支援

(谷掛座長)

平成 27 年度事業予定について、何か質問等ございませんか。

質疑応答

(渡邊)

診療機能の強化として、医師の増員など過去のデータを見ても規模が拡大している。患者の立場としては、機能強化はありがたいが、経営の観点からはどんどん機能強化す

るのは負担が大きくなり大変だろうと思う。患者の増え方に応じた機能の強化はどの程度が適切なのか、基準的なものがあるのか。

(松原課長)

一律の基準的なものはないが、市立奈良病院の外来患者数と入院患者数のバランスは入院患者数に対して外来患者数が非常に増えているという状況にある。今後も地域支援病院としての役目、地域連携といった公立病院としての役割を果たしていかなければならないと考えており、外来患者と入院患者の状況を踏まえ、市立奈良病院と協議して進めていきたい。

(谷奥次長)

課長から発言があったが、事業予定(2)病院の診療機能の強化について、トータル的に病院の質の向上を目指していくということで、病院機能評価を受審することでレベルアップを図っていくという事だと思う。

(新谷)

日本医療機能評価機構は、専門的な調査機関か。調査は、覆面調査か、前もって調査が分かっているのか。覆面だとその時だけきちっとすることができないので、覆面調査がよりいいと思う。私は、社労士なので、日本年金機構ではよく覆面調査がある。年金相談の実態についてお客さんのふりをして専門のチェックをしていく。そういう調査かと思った。

(松原課長)

専門の調査機関です。覆面調査ではない。書類等も全部見るので、覆面調査はできない。

(瀬川)

例えば、すべての諮問機関に対してきちっと議事録が作成されているかどうか、だれが責任を持って書類を作成しているのかといったこと細かなことまでチェックするなど、かなりの時間をかけてやりますので、精度的には高い調査だと思う。

(栗本)

地域連携が進んでいるのか、資料を見てもわかりにくい。医師会の方としても地域連携がどんなふうに進んでいると思われているのか。現状等も教えていただきたい。紹介率や逆紹介率も示せば、地域連携がどれだけ進んでいるのかわかりやすいと思う。

(松原課長)

地域支援病院の数値はもう少し高い紹介率や逆紹介率が設定されているが、市立奈良病院の場合は直接来られる方が多いこと、治られて退院されるという方が多いという状況ではあるが、紹介率も逆紹介率も年々上がってきている。以前は約33%であったが、現在は35%ぐらいになっている。また、紹介率も16.9%が現在は23%程度になってきている。これからも、紹介率、逆紹介率を向上させ地域支援病院の役割を果たしていきたい。医師会との連携は、奈良市立病院の地域医療連携室で委員会を立ち上

げ医師会と協議していこうという形になっており、前回からお伝えさせていただいているよう進めている。

(谷掛座長)

医師会の立場から紹介については、患者さんが選択する病院になってもらう、どこそこへ行きたいといわれるように質の高い医療をやってもらうことだと思う。地域医療連携室の電話等がつながりにくいなどの実態もあるようだが、県の医療センターは工夫してやっておられる。参考にしてもらって連絡が付きやすいような形をとっていただくように進めてもらいたい。

(河瀬)

人工関節センターの設置は、27年度に入って既に設置したのか。四肢対象の患者が多いのか。それとも、まずセンターとして設置しようということか。先程も質問が出ていたが、細かくこのようなセンターを作るのは収支面でどうなのか気になる。

(松原課長)

センターは27年度既に設置をしている。股関節患者の増加や高齢化等の方の状況を判断して設置するもので、詳細については、後ほど確認して報告する。

(谷掛座長)

案件4 その他について報告してください。

(松原課長)

○平成23年度以前の市立奈良病院医業未収金の債権回収状況について

1. プロポーザル選定によるさくら法律事務所へ平成26年5月9日に委託契約。

- ・委託債券件数 581人
- ・委託債権総額 39,111,841円

2. 平成26年度の医業未収金債権回収不能分

<平成27年3月31日現在>

(時効援用)	10人	1,299,047円・・・①
(債権放棄分)		
・所在地不明	29人	3,015,262円
・生活保護	21人	1,985,759円
・相続人不存在	2人	139,990円
・破産	3人	379,157円
合計	55人	5,520,168円・・・②
総合計	65人	6,819,215円・・・①+②

3. 平成26年度の医業未収金回収額

返済終了(一括) 61人 2,760,531円

返済終了（分割）	8人	981,597円
分割中	36人	1,458,863円
合計		5,200,99円

4. 残りの債権額の状況

・残りの債権件数及び債権額	447人	27,091,635円
内分割中	36人	4,007,777円

5. さくら法律事務所への委託料支払額

		1,334,010円
--	--	------------

患者アンケートについて

○入院患者アンケート

地域医療振興協会が市立奈良病院の外来患者と入院患者を対象に患者満足度調査実施した。医師、看護師及び総合評価などの視点から抜粋して報告（常にと概ねの数値を報告）する。

・入院患者アンケート

実施期間 平成26年9月16日～平成26年10月13日 回答数 324件

・看護師とのコミュニケーション

設問1.入院中、看護師はあなたに敬意を払い、礼儀正しく対応したか？

常に礼儀正しかった69.4%、概ね24.4%、合わせて93.8%

設問2.入院中、看護師はあなたの不安や要望に耳を傾けたか？

常に耳を傾けてくれた71.9%、概ね21.3%、合わせて93.2%

設問3.検査、治療などに関して、看護師はあなたが理解できるように説明をしたか？

常に理解できる説明を受けた62%、概ね30%で合わせて92%

設問4.ナースコールのボタンを押した後、看護師はすぐに来たか？

常にすぐに来た44.1%、概ね26.9%で、合わせて71%

・医師とのコミュニケーション

設問5.入院中、医師はあなたに敬意を払い、礼儀正しく対応したか？

常に礼儀正しかった82.4%、概ね15.7%、合わせて98.1%

設問6.入院中、医師はあなたの不安や要望に耳を傾けたか？

常に耳を傾けてくれた78.4%、概ね20.1%、合わせて98.5%

設問7.検査、治療などに関して、医師はあなたが理解できるように説明したか？

常に理解できる説明を受けた75%、概ね23.1%で、合わせて98.1%

設問11.トイレまたは便器使用時の介助を求めた際、スタッフはすぐに来たか？

常にすぐ来た72.1%、概ね26.5%、合わせて98.6%となっております。

設問19.入院中、退院後の生活に必要な援助について、医師、看護師、または他の病院スタッフと話をすることはあったか？

はい、54.3%、いいえ30.2%

・総合評価（10が最高、0が最低）

設問 21. 市立奈良病院の評価は0から10のどれにあたるか？

10が33%、9が17.9%、8が25.3% 8以上で76.2%

設問 22.全体としてこの病院に満足したか？

大変満足 46%、満足43.5% で合せて89.5%

設問 23.友人やご家族に市立奈良病院を勧めるか？

必ず勧める39.8%、おそらく勧める50.3%で、合せて90.1%。

○外来患者アンケート結果について

実施期間 平成26年9月16日から18日まで 442件の回答

・総合評価

設問 1. 市立奈良病院の評価は0から10のどれにあたるか？

10が最高で、0が最低ですが、10が12.9%、9が9.7%、8が19.9%で、
8以上で42.5%

設問 2.全体としてこの病院に満足しているか？

大変満足0.5%、満足1.8%で、合わせて2.3% 不満足51.8%

設問 3.友人やご家族に市立奈良病院を勧めるか？

必ず勧める19.2%、おそらく勧める59.5%で、合せて78.7%

・医師とのコミュニケーション

設問 4.医師はあなたに敬意を払い、礼儀正しく対応したか？

常に礼儀正しかった54.3%、概ね40%で合わせて94.3%

設問 5. 医師はあなたの不安や要望に耳を傾けたか？

常に耳を傾けてくれた50.7%、概ね30.8%で合わせて81.5%

設問 6.検査、治療などに関して、医師はあなたが理解できるように説明をしたか？

常に理解できる説明を受けた53.2%、概ね37.1%で合せて90.3%

・看護師とのコミュニケーション

設問 7.看護師はあなたに敬意を払い、礼儀正しく対応したか？

常に礼儀正しかった36.2%、概ね42.8%で合せて79%

設問 8.看護師はあなたの不安や要望に耳を傾けたか？

常に耳を傾けてくれた37.1%、概ね28.5%で合せて65.6%

設問 9.検査、治療などに関して、看護師はあなたが理解できるように説明したか？

常に理解できる説明を受けた。38.9% 概ね32.6%で合せて71.5%

設問 12 待ち時間について

長時間待たされた10%、待たされた30.1%で合せて40.1%

設問 13 職員はあなたの待ち時間について、何らかの配慮をしたか。

まったく配慮のないまま待たされた9.5%、待ち時間を聞いても納得できる答えがなかった6.3%、合せて15.8%

配慮があった 42.5%、納得して待つことができた 20.6%で合せて 63.1%

・アンケートの考察

反省点として、設問の仕方をもっと患者に回答しやすい形に精査する必要がある。例えば、外来患者の調査の病院に対する満足度で、不満足が 51.8%となっているのに対して、友人や家族に当院を勧めるかという設問に対して、「必ず勧める、おそらく勧める。」を含めて、78.7%となっており、設問の間で齟齬がある。

また、入院中に退院後の生活に必要な援助について、「医師、看護師また病院スタッフと話す機会がありましたか。」の設問で「いいえ」が 30%を占めているのは、市立病院は在宅復帰率が高く、病状が回復して元気になって自宅へ帰る患者が多いため、退院後の処置について入院中に話すことが少なかったと考える。

この調査は、職員の庁内ポータルに結果を掲載しており、看護部では、入院患者については、「必ず家族や知り合いへ勧める」の評価が劣っているので、患者が他の人へ推薦できるような看護サービスを提供していくよう、話しをしている。また、具体的な改善、要望は、ご意見箱の投書等で随時行っている。今回の調査は新病院がグランドオープンして初めての調査であり、この調査の反省のもとに、患者にわかりやすい満足度調査を今年度も検討していく。

○市立看護専門学校について

(竹本事務長)

- ・平成 26 年 11 月 9 日（日） 推薦入学試験を実施
18 人出願、17 人受験、15 人合格
- ・本年 1 月 25 日（日） 一般入学試験を実施
115 人出願、100 人受験、合格者 35 人、補欠合格 32 人を発表
最終合格者 推薦入学試験合格者 15 人、一般入学試験合格者 27 人 合計 42 人
- ・本年 4 月 8 日（水） 3 期生の入学式を挙行
全学年が初めて揃い、現在 126 人が在籍
市立奈良病院の履修事業（看護実習や講義など）
1 年次 39 単位 1110 時間、2 年次 38 単位 1095 時間、3 年次 20 単位 825 時間
3 年間の合計 97 単位 3030 時間
- ・本年 5 月 18 日（月） 学校運営委員会及び入学試験委員会を開催
- ・今後も地域医療に貢献する看護実践力を持った質の高い看護師の育成に向け、在
校性の教育の充実を図るとともに、優秀な学生確保に向けて努力していく。

(谷掛座長)

案件 4 その他について、何か質問等ございませんか。

(質疑応答)

(島本)

アンケート結果をどう生かすか、どうフィードバックするのが大切だと思う。すべての職種、職場で、この結果を見ることで新たな発見があると思う。是非、フィードバックしてもらったらいいなと思った。

この結果をどこかに公表するのか、うちの病院はこんな風でしたと PR するのか、入院患者は非常に満足度が高い評価である。2点目として、外来患者の設問「全体としてこの当院に満足していますか？」の問いに対し「不満足」が 51.8%という結果を見て驚いたが、次の設問「誰かに勧めますか？」をみると「勧める」という方が多い。これは聞き方の問題かなと思う。誰かに勧めますかの選択肢に「わからない」というのがない。

「勧める」か「勧めない」かしかないので、無回答ということかもしれないが、入院患者は満足しておられるのに外来患者は不満足である。入院と外来で満足度が違うのはなぜか、設問がないと思う。ハード面は、非常にきれいになっているので満足度は高いと思うが、待ち時間とか、色々な部分の何が不満足なのか、中身を聞いてもらったらよいのではないかと思う。医療そのものに対して満足しておられるのか、ハードなのか、そのところはよく聞いていただくのがいいのではないか。このような調査は、他の病院でもされているのか、比較の対象となるものがあるのであれば、そこを参考に作られたのか、よその状況などもお聞かせいただければと思う。

(松原課長)

アンケート結果の取り扱いについては病院側ともよく協議をして決めていきたい。施設面は、別の設問で病室とシャワールームは清潔に保たれていましたか？常に清潔だった 61.1%、おおむね清潔だった 25.3%、合わせて 86.4%という結果が出ている。また、周囲が静かだったかについても常に静かだった 47.8%、おおむね静かだった 32.7%、合わせて 80.5%の方が満足の回答である。先程の待ち時間などの不満足の点も設問等の設定が不十分であった点もあるので、再度検討して本年度の調査に活かしていきたい。

(栗本)

もし私が外来患者だったらと考えると、多分、病院にお世話になっているという気持ちからアンケートであっても不満とは言にくい、不満があっても無回答にするかなあと思う。この無回答というのが大きな意味を持ってくるので、そういうところも含めて、どういうところに不満があるのか、汲み取っていただけるとよりよい運営になっていくと思う。

(松原課長)

病院側も無回答数が多いということに気がかけている。その点も含めてこれからのアンケートを考えていきたい。

(河瀬)

外来での不満足はずっと掘り下げていかねばならないと思う。それと、医師は敬意を払いとか礼儀正しくとか、表現が難しい、受け取る方もどう思うだろう。なぜこんなことをいうかという、あまり患者様となるといろいろとアンバランスが出てしまうと思う。確かに来ていただく患者さんは神様かもしれないが、その辺は考えた方がいいのではないか。

こういうアンケートも大事だが、外来にはご意見箱を置いているが、これでも本心はつかみやすいのではないかなと思う。私は、どういうことに不満を持っておられるのか、どういうことに感謝されるのかと思って他の病院をよく見に行く。他の病院の結果も参考になると思う。

(松原課長)

その点も含めて検討します。

(新谷)

このアンケートは退院される時に取ったのか。治って退院するときは、すべて良かったと思うかなと、ちょっとハロー効果みたいなことを感じた。

(松原課長)

退院される時に書いていただいている。

(河瀬)

実は入居者を緊急でお願いしたことがあるが、入院から退院までの対応が大変良くて、患者さん本人も喜んでおられた。その方はよくお話しされる方なので、やはりロコミで、あそこの病院はきれいだし親切だしというようなことが広がっていると思う。皆さん大変だと思うが、喜んでおられる方もたくさんおられるので、今後ともよろしくお願ひしたい。

(松原課長)

ありがとうございます。関係者に伝えさせていただく。

(森村)

公認会計士の立場からみると、財務資料の欠損金が毎年膨らんできている。今期末7億から来年度9億円となっている。財政の健全化の面からはある程度収支バランスを考えないと市の財政負担が増えてしまうことになる。

(河瀬)

病院でも市民講座、県民講座というのを開いておられて、私も一度、どのようなものなのかと参加したことがある。高齢者の人たちが多く、講義しておられる先生の病院にほとんど行かれるのではと思った。センターにして、どれぐらいの患者さんが来られるか気になる。病院も、じっと座って、来て下さる患者を待つだけの時代ではないと感じる。患者さんが多い病院は積極的にPRしておられるように思う。市立病院も交通の便のいい会場を借りてPRされたらいいのではないか。

(栗本)

地域医療を担うということは、患者をたくさん集めれば良いというわけではないと思う。規模と患者数のバランスや医師などの医療従事者と地域の状況など、地域の医療の中核を担う病院としての在り方などいろいろな要因がある。経営の面では、患者さんを増やしていくのが一番いいのだが、地域医療の中心になろうというというのは、経営だけではなく、様々な患者を受け入れるという大きなテーマがある病院なので、そこがすごく難しい事だなあと思う。

(河瀬)

やはり、歴史を重ねて医師会の先生方ともコミュニケーションも取れることで、それが発揮できると思う。まずは、知っていただくのが大事じゃないかと思う。確かに、数だけの問題ではないと思う。

(松原課長)

ご意見ありがとうございます。

閉会

(谷掛座長)

本日の参加者の皆さまのご意見・ご要望については、第21回の市立奈良病院管理運営協議会に反映させていただく。

終了

終了後、市立看護専門学校の見学会を開催